

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

資料2

施設名称	中城湾港安座真海浜公園	対象年度	令和4年度
------	-------------	------	-------

## 【目次】

I.	履行確認・評価		
1.	維持管理業務	.....	1
	(1) 清掃		
	(2) 保守・点検		
	(3) 保安・警備		
	(4) 小規模修繕		
	(5) 備品購入		
	(6) 防犯・防災対策		
	(7) 料金徴収業務		
2.	運營業務	.....	2
	(1) 利用実績		
	1) 利用者数等（又は入居率等）		
	2) 施設稼働率		
	3) 教室・イベント等参加者数		
	(2) 運営企画		
	(3) 受付・接客		
	(4) 広報		
	(5) 情報管理		
3.	自主事業	.....	3
II.	サービスの質の確認・評価	.....	4
III.	財務状況の確認・評価	.....	5
1.	事業収支		
	(1) 収入		
	(2) 支出		
2.	経営分析指標		
IV.	総合評価	.....	8
	1. 目標		
	2. 評価結果		
附表	経営状況分析シート	.....	9

※必要に応じて項目を追加・削除する。

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	中城湾港安座真海浜公園		対象年度	令和4年度
指定管理者	安座真海浜公園運営企業体 (構成員名:沖縄文化スポーツイノベーション株式会社 合資会社 知念海洋レジャーセンター 株式会社 JALJTAセールス 特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議)		所管課	土木建築部 海岸防災課
	指定期間: 令和4年4月～令和9年3月			

## I. 履行確認・評価

## 1. 維持管理業務

## (1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ゴミ回収、緑地等の草刈り、砂浜・トイレ・シャワー室等の清掃	○	○ (ゴミ回収)	事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	施設内の清潔が保たれている。今後も適切な衛生管理に努める。

## (2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内の設備を点検	○	○ (浄化槽維持管理)	事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切な保守・点検に努める。

## (3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内を巡回警備(管理施設・駐車場・砂浜・護岸等)	○		事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切な保安・警備に努める。

## (4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的な巡回により、優先順位をつけ、効率的に修繕を実施	○		事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	優先度の高い箇所より適切に修繕を実施。利用者の安全性と利便性に配慮し今後も適切な修繕を行う。

## (5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な事務用・維持管理用備品の購入	○		備品購入はなし	現地及び業務報告書で確認		今後も必要に応じ、優先順位、コストを考慮して備品の購入を行う必要がある。

## (6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
監視員の配置、定期的な防災訓練、危険生物防止ネットや救護用具(レスキューボート、AED等)の設置	○	○ (夜間巡回警備)	事業計画のとおり実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切に防犯・防災対策をとること

## (7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
シャワー料金、駐車場料金の徴収を行う	○	○	事業計画のとおり実施	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切に利用料金を徴収すること

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	R4年4月より、新たな指定管理者として業務を開始、これまでのコロナ禍による施設閉鎖により、施設の至る所で破損や修正の必要な箇所の確認、対応を行い、施設利用者の安全管理に努めた。 今後も利用者の安全性と利便性に配慮し、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕を実施していく。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(a+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

## 2. 運営業務

## (1) 利用実績

## 1) 利用者数等

	令和3年度実績	事業計画 (目標値)	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
利用者数	個人利用者数	10,893	—	21,456	197%	—	令和3年度より利用者数は倍増したものの、団体利用者については、県内のコロナ感染状況の変動によりキャンセルが生じたため伸び悩んだ。 4月から8月は天候にも恵まれ、個人利用者については順調に増加したものの、9月より約1ヶ月続いた台風11号12号14号の影響により、全体として利用者数は伸び悩んだ。
	団体利用者数	3,632	—	4,455	123%	—	
	計	14,525	58,000	25,911	178%	45%	

## 【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

評価(①利用状況)

C

## 2) 教室・イベント等参加者実績

	内容	令和3年度実績	事業計画	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
イベント	海開き	0	200	100	皆増	50%	4/17海開きセレモニー イベント告知についての情報発信を積極的に行う必要がある。
	学校遠足	1,181	700	465	39%	66%	県内中学校・高校計3校。BBQ及び海水浴で利用した。
	BBQ、マリンスポーツ、キャンプ他イベント	528	450	370	70%	82%	各種団体によるイベント利用
	ビーチクリーン	50	150	200	400%	133.3%	
	元旦初日の出	0	500	550	皆増	110.0%	駐車場無料開放実施
	修学旅行、研修会	21	400	600	2857%	150%	
	あざまサンサンマルシェ	0	1,500	1,800	皆増	120%	毎月第3日曜日に、知念漁協朝市と連携し実施
	ビーチバレー	80	100	50	63%	50%	
	グランドゴルフ大会	47	30	20	43%	67%	
	キャンプサイト (12/1～)	0	500	300	新規	60%	オフシーズン土日祝祭日の開催
計		1,907	4,530	4,455	234%	98%	

## (2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉	348日	業務報告書のおとりであることを確認	整合性がとれている。	台風の影響で17日臨時休業となった。(海開きは4月17日・今期の遊泳可能日数は43日間) 4月以降はコロナの影響が残り、修学旅行や団体の予約のキャンセルが続いたが、県内の中学、高校の遠足は再開され実施された。 繁忙期の7月から8月まではインバウンド以外は戻り傾向があったが、コロナ前の50%～60%の水準に達した。 9月から10月にかけての連続した台風の影響でビーチが使用できず、結局は11月のビーチクローズまで使用できなかったことが収益の大きな打撃を受けることになった。 12月よりキャンプ場をオープンして自主事業の幅を広げる施策を実施。
〈開館時間〉	4/1～10/31 9:30～20:00	事業報告書のおとりであることを確認	整合性がとれている。	
	11/1～3/31 9:30～19:00	事業報告書のおとりであることを確認	整合性がとれている。	
	※ビーチ開設期間 4/17(海開き)～10/31	事業報告書のおとりであることを確認	整合性がとれている。	

## (3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
丁寧な対応を心がけ、予約、連絡ミスをしていない	○		事業計画のとおり実施できた	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	利用者に対してスタッフが丁寧に対応しており、今後もより良い対応を心がけること

## (4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HP作成、SNS(インスタ、フェイスブック)掲載	○		事業計画のとおり実施	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	集客増に向けて、HP更新及びSNS発信等工夫するなど効果的な広報に努めること。

## (5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
予約台帳等の個人情報を適切に管理する。	○		事業計画のとおり実施した	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	トラブルなどは特に発生しておらず、引き続き適切な管理に努めること

## 3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
バーベキュー	○		バーベキュー食材の販売、器材のレンタル	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切な接客対応に努めること。
マリンスポーツ体験		○	バナナボート・シュノーケル等	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
レジャー用品レンタル	○		パラソル等のレンタル	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
売店	○		飲物、軽食等の販売	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	顧客ニーズ対応に努め、今後も適切なサービス提供すること。
自動販売機	○		飲料自動販売機を設置	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	品切れ等に留意し、今後も適切なサービスを提供すること。
施設使用料	○		東屋、キッチンカー施設利用	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切に安全に配慮したサービスを提供すること。
キャンプサイト	○		閑散期に実施	事業報告のとおりであることを確認	整合性がとれている。	事業周知や顧客ニーズ対応に努め、閑散期の集客効果を高めること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	<p>ビーチは4月の海開きと同時にユニバーサルデザインビーチとして、モビマット(車いす利用者用のマット)を導入、モビチェア、バギーを常設して、全国で初めての常設のユニバーサルデザインビーチとして運営を行った。</p> <p>9月から10月にかけての連続した台風の襲来でビーチが使用できず結局は11月のビーチクローズまで使用できなかったことが収益の大きな打撃を受けることになった。</p> <p>12月よりキャンプ場をオープンして自主事業の幅を広げる施策を実施。これまでアンケートの利用者意見で多かった男女のトイレの和式から洋式の改修工事に着手、2023年4月に完成し、利用者の利便性向上につなげている。引き続き施設利用者の利便性向上のため、シャワーの温水化や多目的トイレの修理等進めていきたい。</p>
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度( $\alpha$ +1年度)の主な取組改善案を記入すること。

II. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法	管理事務所にて施設利用者へ配布	回答者数	112名	アンケート内容		別紙(資料3)参照	
評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者	現状分析・課題	
	令和3年度評価	令和4年度目標	令和4年度評価				
維持管理業務	施設・設備管理(シャワー、トイレ) (満足度)100%(※1) ・満足80% ・やや満足20% ・やや不満0% ・不満0%	(満足度)80%(※1)	(満足度)85%(※1) ・満足15% ・やや満足70% ・やや不満10% ・不満5%  (改善要望) 洋式のトイレがない。 冷水しか出ない、温水シャワーが必要 施設が古い。ベンチ破損箇所を直してほしい。	A	(要望への対応) 施設は古い、清潔感を心がけて清掃している。 破損箇所は、使用禁止にするなど安全管理を実施している。今年度よりトイレトパーパーを設置 (自己評価) 今後も清潔な維持管理に努める。温水シャワーについては、県と調整している。	利用者から要望のあったトイレ洋式化については、令和5年4月末に改修済みである。 ベンチ破損箇所など修繕箇所については、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕等を実施していく。	
運営業務	接客対応 (満足度)100%(※1) ・満足93% ・やや満足7% ・やや不満0% ・不満0%	(満足度)80%(※1)	(満足度)100%(※1) ・満足95% ・やや満足5% ・やや不満0% ・不満0%  (改善要望) 特になし。 利用者評価として、「シュノーケリング初めてで泳げないけど安心だった。」とあった。	S	(要望への対応) 特になし。 その他対応として事務所にコロナウイルス感染症対策を実施しBBQの受渡やマリンスポーツの受付を行った。有線放送の感染症対策応援、注意喚起特集等の放送も実施 (自己評価) 引き続き、丁寧な接客対応等に努める。	引き続きコロナ感染症対策の実施を行いながら、丁寧な接客対応、努める。	
	施設・設備(BBQ会場、ビーチ) (満足度)100%(※1) ・満足75% ・やや満足25% ・やや不満0% ・不満0%	(満足度)80%(※1)	(満足度)100%(※1) ・満足75% ・やや満足25% ・やや不満0% ・不満0%  (改善要望) 特になし。その他意見として「ビーチパーティーができてよかった。」	S	(要望への対応) 特になし。 その他の対応として草刈り等の環境整備を重点的に行った。 危険箇所の修繕等を行った。 (自己評価) 引き続き、利用者の利便性向上に努める。	施設内を清潔に保ち、整備については定期的に点検を行うなどトラブル防止に努めること。 危険箇所においては、指定管理者と県で共有し、改善方法及び処理について適宜対応していく。	
自主事業	(満足度)100%(※1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0%	(満足度)80%(※1)	(満足度)100%(※1) ・満足88% ・やや満足12% ・やや不満0% ・不満0%  (改善要望) BBQのタレが濃い、タレ無しがよい。 テーブル、椅子が古い。 当日お肉のみの追加ができるとうい。	S	(要望への対応) メニューの内容調整等の要望は可能な限り対応している、今後も継続する。 テーブルの修繕を行う。 (自己評価) 引き続き、丁寧な接客対応等に努める。	自主事業で最も売上実績を占めるBBQは、受付時にコロナ関連注意事項や感染拡大ガイドラインに留意する様に促す。	
総合評価 (各評価項目の平均)	(満足度)100%	(満足度)80%(※1)	(満足度)96.2% ・満足68.2% ・やや満足28% ・やや不満2.5% ・不満1.3%	評価 (②満足度) S	(自己評価) コロナウイルス感染症対策を実施し営業を行った。 BBQ会場の利用の仕方を改善したり、部活などの団体は平張りテントを使用してもらいソーシャルディスタンスの維持を心掛けた。	施設の清潔さやスタッフ対応の良さ、海がきれいとの意見があり、顧客満足度の高さがうかがえる。今後とも満足度の維持・向上のため、創意工夫に努めること。	

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。  
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均  
各評価項目においてはそれぞれの満足度  
S : 90%以上  
A : 80%以上、90%未満  
B : 70%以上、80%未満  
C : 70%未満

II. サービスの質の確認・評価 取組改善案	コロナの規制がなくなり、多くのインバウンドの来場が予想される。これまでも、イングリッシュスピーカーを2名配置するなど、対応をしてきたが、英語だけでは不十分だと感じる。台湾からの来訪者多いため、サービスの多言語対応を進めていく。ユニバーサルデザインビーチとして、さらにスタッフ研修を行い、対応の強化を図り、県とも相談して多目的トイレの修理、改善を行う。
---------------------------	---

※「II. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

## Ⅲ. 財務状況の確認・評価

## 1. 収支

## (1) 収入

収入項目		令和3年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	駐車場	647,700	6,030,000	—	3,721,900	574.6%	61.7%	1台500円
	シャワー料	119,000	2,010,000	—	896,200	753.1%	44.6%	1回200円
	計	766,700	8,040,000	—	4,618,100	602.3%	57.4%	
指定管理料		—	—	—	—	—	—	利用料金制のため
自主事業収入	バーベキュー(器材・食材等)	966,140	21,440,000	—	5,204,900	538.7%	24.3%	
	レジャー関係備品レンタル料等	156,300	2,010,000	—	1,517,500	970.9%	75.5%	
	マリンスポーツ体験料	358,500	7,370,000	—	4,224,800	1178.5%	57.3%	
	キャンプサイト	0	990,000	—	122,600	皆増	12.4%	新規事業
	トイレトペーパー	0	200,000	—	52,000	皆増	26.0%	
	店舗使用料	135,198	400,000	—	46,800	34.6%	11.7%	売店
	施設使用料	283,600	900,000	—	824,776	290.8%	91.6%	写真撮影ロケによる施設使用等
	自動販売機	197,187	450,000	—	332,554	168.6%	73.9%	
	台風被害復旧、施設修繕費	7,696,000	0	—	6,219,180	80.8%	皆増	①放送設備修繕、 ②R4冬冬季節風飛砂被害復旧、 ③台風災害復旧
	他会計繰入金	5,175,142	0	—	0	皆減	皆減	
	地方創生臨時交付金(県)	3,889,000	0	—	0	皆減	皆減	
	雇用調整助成金(国)・応援支援金(南城市)	3,297,440	0	—	9,600	0.3%	皆増	
	うちなーんちゅ応援プロジェクト協力金(県)	5,240,000	0	—	0	皆減	皆減	
	雑収入	775,194	500,000	—	374,082	48.3%	74.8%	ロッカー手数料、ゴミ袋等
イベント事業費	0	1,000,000	—	0	皆減	0.0%		
計	28,169,701	35,260,000	—	18,928,792	67.2%	53.7%		
合計(A)	28,936,401	43,300,000	—	23,546,892	81.4%	54.4%		
参考:台風被害復旧等を除いた額	21,240,401	43,300,000	—	17,327,712	81.6%	40.0%		
(現状分析・課題)								
利用料金収入は前年度比約5倍と増加しているが、9月の台風被災のため、利用客が減少し、事業計画比の約6割止まりとなった。自主事業収入は、BBQ収入が前年比約5倍と大きく増加したが、台風に伴うキャンセルにより事業計画比の約2割止まりとなった。新規事業のキャンプサイト運営に実施着手している。								

## (2) 支出(指定管理業務)

支出項目		令和3年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
人件費		7,089,238	10,225,000	—	9,376,937	132%	92%	職員2人(給与、賞与、交通費、法定福利費)、臨時職員
需用費		2,025,091	4,680,000	—	2,906,127	144%	62%	経費節減に伴う需要費削減 ・消耗品費1,294千円(トナー代等) ・燃料費115千円(草刈機用) ・光熱水費1,495千円(シャワー水)
備品購入費		0	500,000	—	0	0%	皆減	
広告宣伝費		0	650,000	—	0	0%	皆減	経費節減に伴う削減
役務費		414,626	576,000	—	275,060	66%	48%	経費節減に伴う役務費削減 ・通信運搬費134千円(電話、ネット等) ・手数料128千円(振込等) ・保守料7千円 ・役務費5千円
委託料		6,757,942	7,200,000	—	2,267,973	34%	31%	・ビーチ監視業務955千円 ・塵芥収集業務480千円 ・駐車場管理832千円
印刷製本費		0	300,000	—	0	0%	皆減	
使用料及び賃借料		373,488	300,000	—	26,920	7%	9%	PC・電話機及び草刈機リース等
修繕料		1,521,300	100,000	—	7,645	1%	8%	指定管理者修繕(軽微な施設修理)

公租公課	6,001	700,000	—	0	0%	0%	
一般管理費	0	350,000	—	8,250	#DIV/0!	—	教育研修費
その他(台風被害復旧費用立替金)	7,696,000	0	—	6,219,180	81%	—	①放送設備修繕、 ②R4冬期季節風飛砂被害復旧、 ③台風災害復旧
合計	25,883,686	25,581,000	—	21,088,092	81%	82%	
参考:台風被害復旧費用立替金を除いた額	18,187,686	25,581,000	—	14,868,912	82%	58%	

## (2) 支出(自主事業)

支出項目	令和3年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
人件費	0	0	—	0	0%	0%	
賃金	0	0	—	0	0%	0%	
報酬費	0	0	—	0	0%	0%	
旅費	0	0	—	13,540	0%	皆増	
交際費	0	0	—	7,080	0%	皆増	
需用費	371,581	300,000	—	1,084,326	292%	361%	BBQ関連消耗品、光熱水費、燃料費
印刷製本費	0	200,000	—	0	0%	皆減	
役務費	0	350,000	—	1,368,580	皆増	391%	保険料、燃料費、通信費、手数料
委託料	250,425	4,422,000	—	7,234,965	2889%	164%	イベント、マリレジャー関連
使用料及び賃借料	0	0	—	1,199,370	0%	皆増	リース料、漁業権海域使用料
原材料費	0	11,363,000	—	2,076,379	0%	18%	BBQ関連食材費等
備品購入費	0	0	—	0	0%	0%	
修繕費	0	0	—	0	0%	0%	
負担金	5,000	0	—	70,000	1400%	皆増	
広告宣伝費	0	300,000	—	264,000	0%	88%	
公租公課	0	350,000	—	0	0%	皆減	
その他	0	0	—	17,592	0%	皆増	諸会費、その他諸原価
合計	627,006	17,285,000	—	13,335,832	2127%	77%	
合計(指定管理料+自主事業)(B)	26,510,692	42,866,000	—	34,423,924	130%	80%	
参考:台風被害復旧費を除いた額	18,814,692	42,166,000	—	28,204,744	150%	67%	

## (現状分析・課題)

コロナ期間中閉園が多かった事もあり、引き継いだ時のビーチの状態は良くなかった。そのためエントランスの美化、植栽、施設修理、管理に多くの人工を必要とした。当初計画を下回ってはいるが、次年度には売店などもオープンさせるので、人件費は増加することが見込まれる。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

## 2. 経営分析指標

評価指標	令和3年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	2,425,709	1,134,000	—	-10,877,032	-448.4%		台風被害復旧費用を除く
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	11.4%	2.6%	—	-62.8%	-549.7%		台風被害復旧費用を除く
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	3.6%	18.6%	—	26.7%	738.3%		台風被害復旧費用を除く
人件費比率 (人件費/支出(B))	37.7%	24.2%	—	33.2%	88.2%		台風被害復旧費用を除く
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	37.2%	27.6%	—	33.7%	90%		台風被害復旧費用を除く
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	1,295	727	—	1,089	84.0%		台風被害復旧費用を除く
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	—	—	—	—	—	—	指定管理料なし

## (現状分析・課題)

4月より施設を引き継いだ、これまでの3年間コロナの影響でビーチとして運営しておらず、施設の至る所で破損や修正の必要な所、施設内の雑草の除去から始まり、4月は海開きが17日ということもあり前期においても黒字化できたのは5.6.7月の3か月そのほかの月は赤字となったが、上半期で見ると黒字をキープ出来ている。下半期は台風11号12号14号と立て続けにきたため、9月から12月末までビーチはクローズのまま、ネットを上げる形になった。9月から12月の4ヶ月間は全く営業にならなかった。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	C
-----------	---

## 【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支/収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	令和4年度はやはり台風の影響が大きかった。上半期は黒字であったが、9月以降台風の影響で、ビーチの復旧作業に時間がかかり、集客が難しかったことが影響している。令和5年度は団体利用者の誘致やオフシーズンの自主事業の強化に取り組む。
------------------------	---

※「Ⅲ. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

## 【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等其他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。



IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2023(R5年度)	2024(R6年度)	2025(R7年度)	2026(R8年度)	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数 60,000	65,000	68,000	70,000	R4の目標58,000人に加えてインバウンドの集客考慮して60,000人とした。
	②満足度	満足度 85%	85%	90%	95%	インバウンドの多言語化アンケートを増やすことで、より課題を抽出する。
財務指標	③財務状況	収益率 2%	2%	2%	3%	台風対策、ビーチの認知度を上げ、閑散期での自主事業の収益を伸ばす。

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和3年度実績	事業計画(目標値)	令和4年度実績		現状分析・課題	評価(点数)	取組改善案	令和5年度目標値
				前年比	計画比				
成果指標	①利用状況	14,525	58,000	25,911	178%	45%	C (-10)	今後は、関係団体や観光団体等と連携したイベント開催を模索するなど、修学旅行や遠足等の学校行事の誘致に努めること。	60,000
	②満足度	100%	80%	96.2%	96%	120%	S (20)	今後も、顧客満足度の向上及び顧客ニーズを捉えたサービスの提供に努める。	85%
財務指標	③財務状況	11%	2%	-62.8%	-550%	-3139%	C (-5)	計画したイベントの確実な実施及び拡充と、オフシーズンの新規事業であるキャンプサイト運営など、収入増につなげる方策を強化する必要がある。	2%
活動指標	④重点取組事項	安全安心保安整備	安全安心に施設が利用できるように警備巡回や休園中、無断遊泳者へ注意喚起を実施した。	安全安心に施設が利用できるように警備巡回や遊泳の監視員を配置	警備巡回や遊泳の監視員を配置した結果、大きな事故はなかった。また運用委員会意見を受け、AED消防講習会を受講し、その旨掲示している。		S (10)	ビーチ管理においては安全安心が一番であるため、海上保安庁や消防との連携を図るため令和5年度は、ビーチを海上保安官連絡所に位置付けることで、海の事故ゼロのリーディングビーチと、併せてインバウンド対応として多言語対応をめざす。	安全安心に施設が利用できるよう、海上保安官連絡所の設置や多言語対応を行う。

総合評価	概ね適正に管理されている。運営の継続性・安定性を確保するため、自主事業の強化を図るなど収益率の向上に取り組む必要がある。	B (15)
------	--	--------

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。  
 ※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。  
 ※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。  
 ※「α+1年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

- 目標値に対する達成率
- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

- 総合評価における満足度(各評価項目の平均値)
- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

- 収益率(事業収支/収入合計)
- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

- 目標に対する評価
- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る
- C : 目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

